

「科学リテラシーの維持・向上を実現する 科学教育の在り方」

第8回全国大会 2006年12月26日・27日

主催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会
共催：東京理科大学大学院理学研究科理数教育専攻
東京大学教養学部附属教養教育開発機構
会場 東京理科大学神楽坂校舎6号館

プ ロ グ ラ ム

第1日（12月26日）13:00～19:00

◆開会の挨拶

滝川洋二（NPO法人理科カリキュラムを考える会理事長／東京大学客員教授）

◆講演「理科教育に対する学校への支援の動向について」

中島達雄（読売新聞社科学部）

◆講演「知識とは何だろーフインランドのシステムに学ぶー」

福田誠治（都留文化大学教授）

◆講演「学習指導要領改訂の方向性について」

清原洋一（国立教育政策研究所 教育課程調査官）

◆パネル・ディスカッション「科学教育が生き生きとする環境づくりとは？」（司会：林衛）

パネラー：清原洋一・福田誠治・中島達雄・兵頭俊夫・滝川洋二

◆報告「物理教育国際会議2006 報告」

兵頭俊夫（「物理教育国際会議2006」組織委員長／東京大学教授）

第2日（12月27日）9:00～15:00

◆カリキュラム開発グループからの報告

1. 科学カリキュラム開発プロジェクト
2. 小中高理科カリキュラム研究会

◆その他のグループからの報告

1. 「『地球と宇宙』に関する単元の学習指導案」
佐々木 清（郡山市立行健中学校）
2. 「アドバンスング物理に学ぶカリキュラム開発」
笠 潤平（京都女子高等学校）

◆討論「午前中の発表と質疑を受けて」（司会：市瀬和義）

登壇者：午前中の発表者（グループ代表を含む）

◆JST委託研究の経過報告

報告者：長濱元・石渡正志・林衛